

福五会の報告

懐かしい二年五組のクラス会は福五会と名付けて今も続いている。会の名前は勿論担任の福田先生のお名前から命名したものであるが、福田先生が「福五会を育てて欲しい」と言われたことを今では遺言として守っているのだ。集まりは必ずしも定期的ではないが、最近はいつも世話役の前原君の宅で開かれている。会員中、木村君は彼の母上も女学校時代に福田先生に習ったとかで、親子二代に亘る教え子である。今年は秋晴れの一日、前原君の宅で楽しい時間を過ごしたが、遠くは愛知・三重からも常連が参加した。農園で芋掘りなどに打ち興じた後、輪投げをしたりして少年時代の感傷に浸り、昼食を共にしながら例の通り果てしないおしゃべりに徹した。珍しい話題は、いつも早朝ウォーキングを励行している木村君が、阪神大震災の日、散歩先で沢山の鳥が皆地上に降りてきて蹲っているのを見たと言ったら、前原君も同じ現象が丹後大地震の時、雀に関して見られたことを話した。また、蜂が高い所に巣を作る時は台風は来ないとか、いろいろな話題が出た。